

#### 4 環 境

（一）環境影響  
（二）環境保護  
（三）環境監測  
（四）環境管理

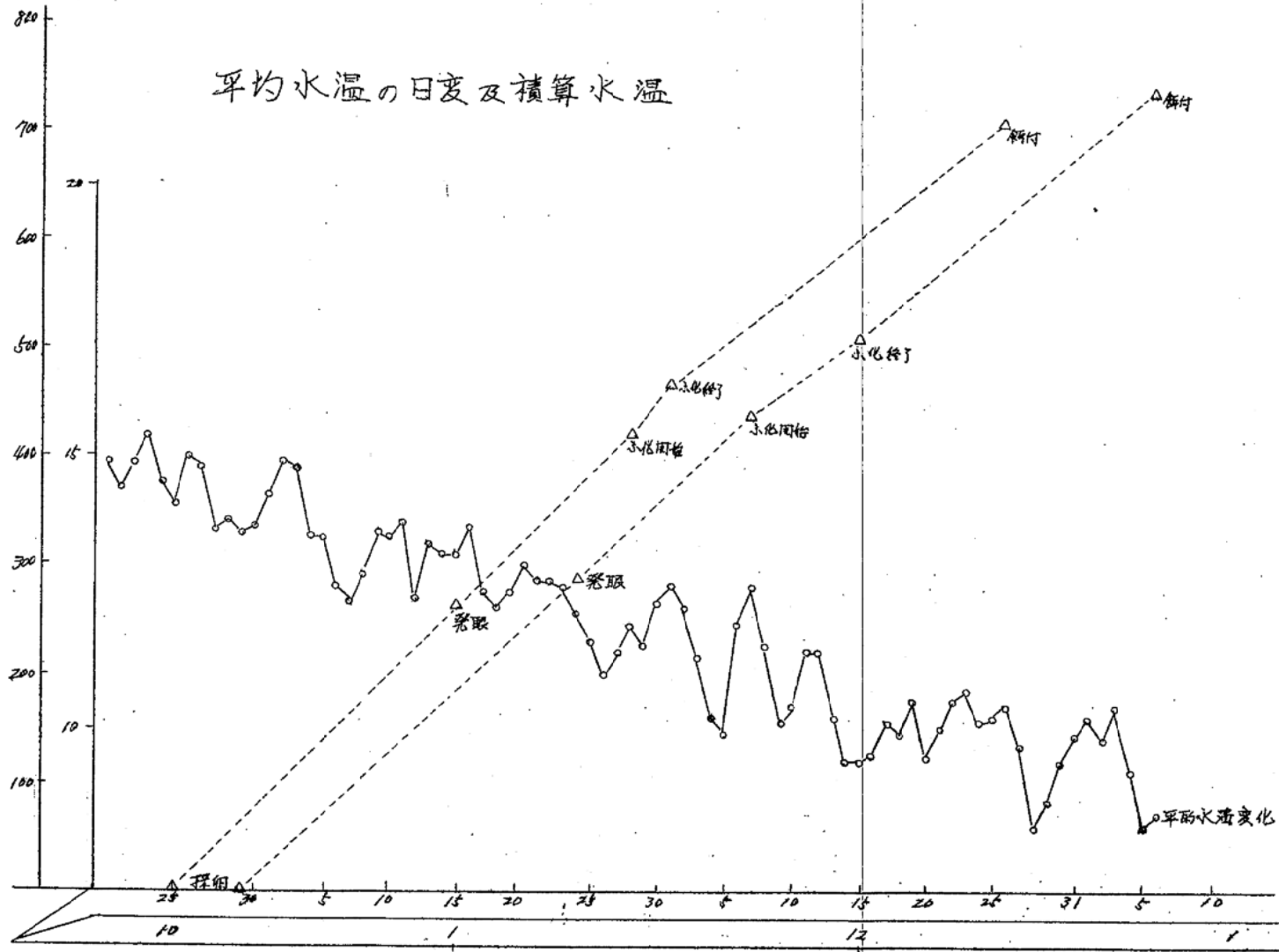
（一）環境影響  
（二）環境保護  
（三）環境監測  
（四）環境管理

（一）環境影響  
（二）環境保護  
（三）環境監測  
（四）環境管理

（一）環境影響  
（二）環境保護  
（三）環境監測  
（四）環境管理

採卵から餌付までの、平均水温の日変化および積算温度は下表のとおりである。

### 平均水温の日変化及積算水温



## 8. 冷水魚種苗化試験

### (あまご種苗化試験)

#### 1. 目的

県下内水面養殖業の振興と、在来ます類資源維持を図るため種苗確保を目的として、あまごの、種苗生産試験を実施した。

#### 2. 試験の概要

##### (ア) 親魚養成池の概要

水面積	12.67 m <sup>2</sup>	平均水深	52.5 cm
容水量	6.65 m <sup>3</sup>	流入量	5 l/sec

##### (イ) 稚魚の養成池の概要

水面積	4.86 m <sup>2</sup>	平均水深	47.5 cm
容水量	2.3 m <sup>3</sup>	流入量	2 l/sec

##### (ウ) ふ化餌付槽の概要

水面積	0.6 m <sup>2</sup>	平均水深	40 cm
容水量	0.24 m <sup>3</sup>	流入量	1 l/sec

##### (エ) 担当者 鳳来養魚場

##### (オ) 実施期間 昭和44年4月～45年3月

#### 3. 親魚の採捕

親魚の採捕および飼育の状況は表-1のとおりである。

表 - 1 親魚採捕状況ならびに飼育状況

採捕年月日	採捕尾数	飼育尾数	へい死数	採捕河川名
44年 6月 4日	37	35	2	寒狭川支流
7月28日	51	81	5	寒狭川支流
9月17日	78	150	9	巴川支流
合計	166	—	16	—

#### 4. 採卵およびふ化

採捕した親魚の内109尾が孕卵成熟し採卵を実施した。採卵実施した親魚は第1回採卵群が平均体重80.5 gr 平均孕卵数260粒, 第2回採卵群平均体重80.02 gr 平均孕卵数254粒であつた。採卵はすべてさく出法で行ない, 28,000粒をさく出した。採卵

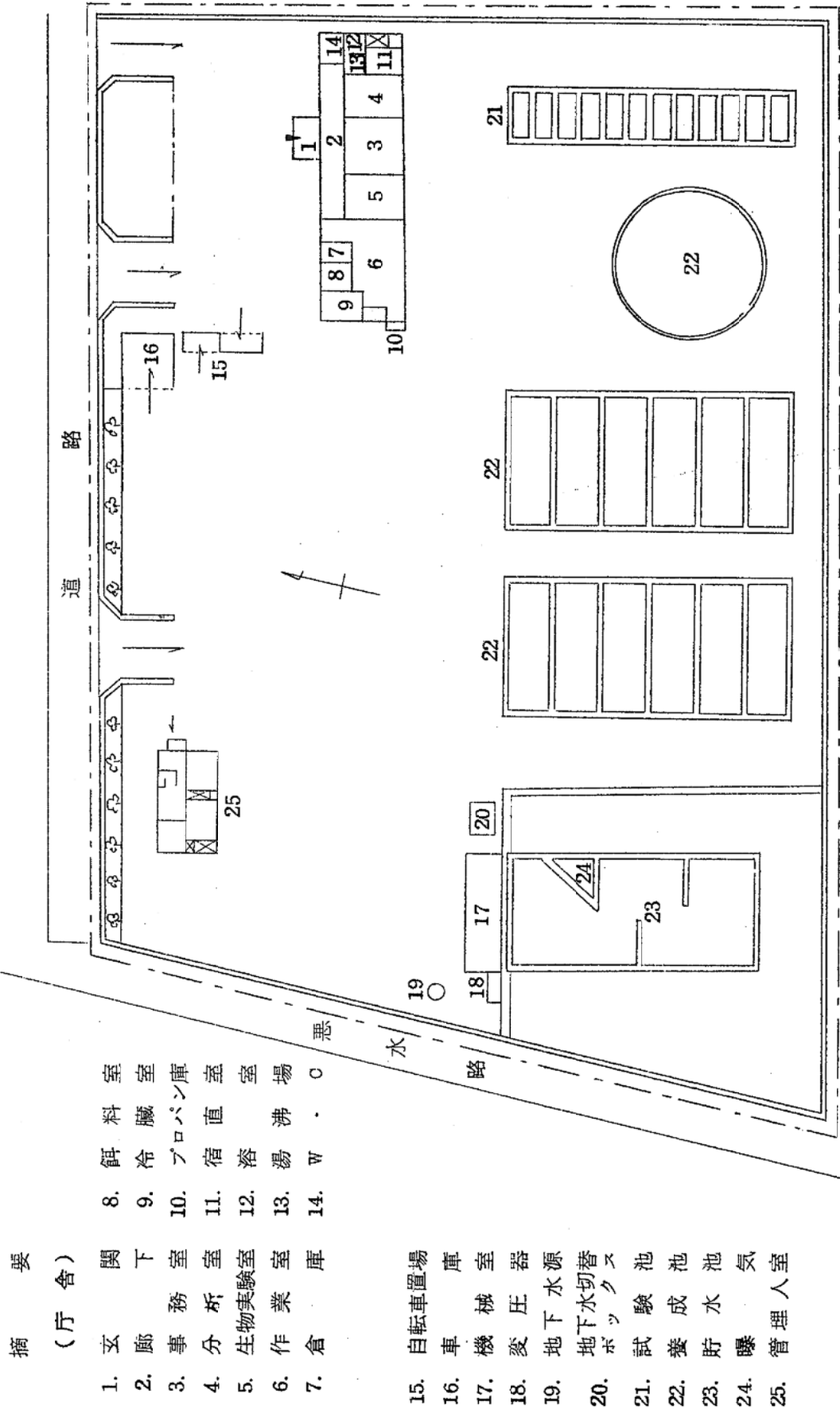
後の親魚は採卵後1ヶ月間で大型魚の大半がへい死した。

採卵、発眼、ふ化、餌付、の試験結果は、表-2に示すとおりである。

表 - 2 採卵ふ化、餌付試験結果

回 数	第 1 回	第 2 回
採 卵 尾 数	♀ 50    ♂ 20	♀ 59    ♂ 25
採 卵 年 月 日	44年10月25日	11月30日
採 卵 粒 数	13,000 粒	15,000
1尾平均孕卵数	260 粒	254 粒
卵 径	4.3 mm	4.2 mm (.20粒平均)
卵 重	65 mg	60 mg ( 粒 )
収容時の水温	14.7 °C	14.2 °C
総 卵 重	845 gr	900 gr
親魚の平均体重	104 gr	101 gr
発 眼 年 月 日	44年11月15日	11月24日
発 眼 数	12,000	13,500
総 重 量	620 g	810
平 均 卵 重	65	60 mg
平 均 卵 径	4.3	4.2 mm
発 眼 率	92.30	90.00
積 算 温 度	272.6	287.1
ふ化開始月日	44年11月28日	12月7日
積 算 温 度	422.9	437.4
ふ化終了年月日	44年12月1日	12月15日
積 算 温 度	471.2	511.8
ふ 化 尾 数	1,1000	13,000
へい死卵数	1,000	500
ふ 化 率	91.66	96.29
餌 付 年 月 日	44年12月26日	45年1月6日
積 算 温 度	718.4	734.6
き型出現率	1.42 %	1.19 %

内水面分場配置図



摘要

(庁舎)

- 1. 玄関
- 2. 廊下
- 3. 事務室
- 4. 分析室
- 5. 生物実験室
- 6. 作業室
- 7. 倉庫
- 8. 飼料室
- 9. 冷蔵室
- 10. プロパン庫
- 11. 宿直室
- 12. 浴室
- 13. 湯沸
- 14. W

- 15. 自転車置場
- 16. 庫
- 17. 機械室
- 18. 変圧器
- 19. 地下水源
- 20. 地下水切替ボックス
- 21. 試験池
- 22. 養成池
- 23. 貯水池
- 24. 曝気
- 25. 管理入室